

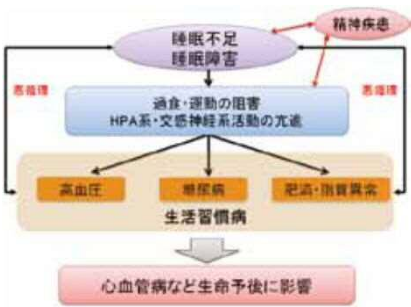
ひとわざ(一技)名: 睡眠障害を評価できる、無拘束睡眠生体モニタ

1. 概要(200字目安)

社会の24時間化に伴い睡眠障害を訴える人が多くなっている。睡眠不足や睡眠障害は、眠気や疲労感の増大、気力・記憶力・注意力の低下などをもたらすだけでなく、心血管病やうつ病など精神疾患への悪影響にもつながるため、自宅でも検査可能な簡易睡眠モニタが切望されていた。

本モニタは、株式会社デンソーと共同で開発した多点感圧センサシート法による睡眠の質・睡眠障害を評価する無拘束睡眠モニタシステムである。

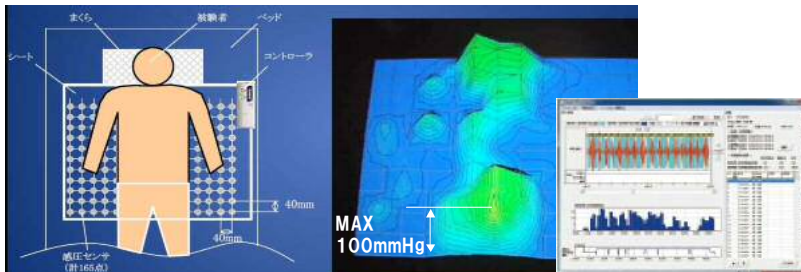
写真・図(要点説明)



- 多くのセンサや電極装着が必要
- 通常の睡眠環境と異なる
- 睡眠障害の早期検出・予防に不向き

- 敷いて寝るだけ(無拘束・在宅)
 - 呼吸・体動・体位・脈拍・自律神経指標
- 反復記録可能で、治療効果を経時的に把握できる
- 通常の睡眠環境と同じ条件

睡眠の自己管理
早期発見・予防へ



2. 企業概況

会社名	中部大学	代表者名	山下 興亜
		窓口担当	研究推進事務部
事業内容	教育機関	URL	http://www.chubu.ac.jp/
主要製品	—		
住所	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200		
電話/FAX	0568-51-4852 / 0568-51-4859	E-mail	kensien@office.chubu.ac.jp
資本金(百万円)	—	設立年月日	1964年
		売上(百万円)	—
		従業員数	756

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③医療分野参入(取引)実績 他